

職員全体勉強会

日時：2025年11月19日（水）

講師：大正製薬株式会社
吉田恒雄 先生

今月は

高齢者の感染症対策

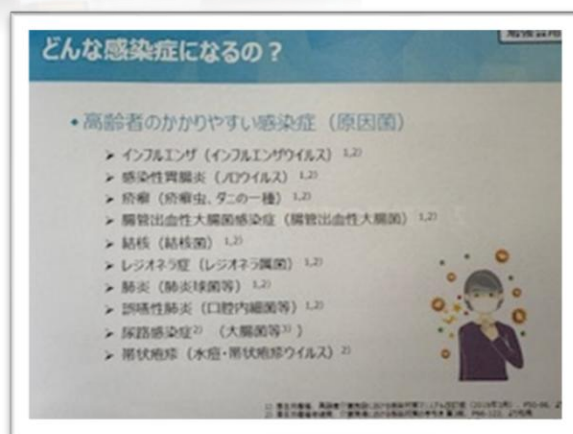
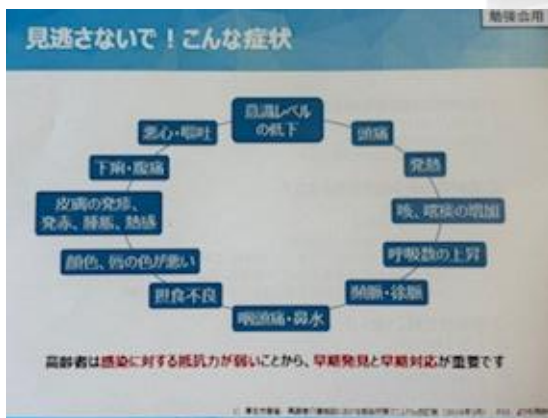
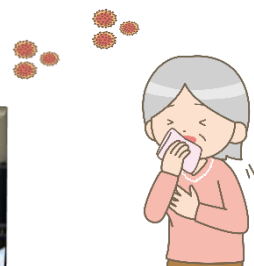
をテーマに、感染症の基本を中心に学びました。

◆どうして高齢者は感染症にかかりやすい？

高齢者が感染症にかかりやすい背景には、いくつかの要因があります。糖尿病や心疾患などの基礎疾患を抱えていることが多く、体の抵抗力が弱まっている点が挙げられます。さらに、加齢に伴って免疫機能そのものが低下し、感染症への抵抗力が弱くなる傾向があります。

また、施設などでの集団生活環境では一人の感染が広がりやすく、集団感染のリスクが高まることも大きな要因となります。加えて、認知機能の低下によってセルフケア能力が十分に発揮できず、手洗いや口腔ケアなどの基本的な予防行動が難しくなる場合があります。

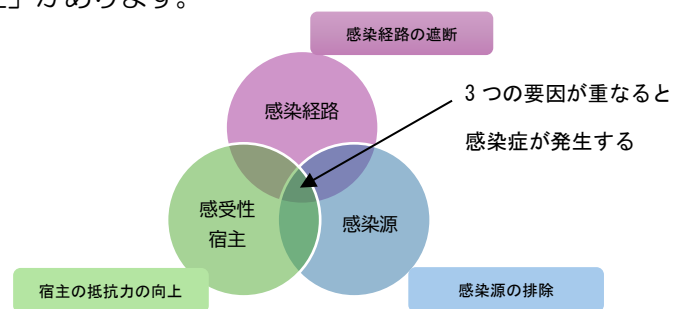
心身の虚弱状態であるフレイルも感染症の発症や重症化を招きやすく、日常生活の中で予防策を意識することが一層重要になります。



◆感染症予防の基本 — 3 本柱

感染症予防には、誰もが知っておくべき「3 本柱」があります。

これは医療現場だけでなく、
日常生活の中でも役立つ基本です。



1. 感染経路の遮断

標準予防策や環境整備を徹底することで、**感染が広がる道を断ちます。**

→施設内に感染を持ち込まないことが重要！ 「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」

2. 宿主の抵抗力向上

フレイル（心身の虚弱）を防ぐ取り組みや、口腔ケア、**予防接種**によって**体の抵抗力を高めます。**

→抵抗力を高める栄養、休息、そして季節的に流行りつつある、インフルエンザやコロナウィルスワクチンの接種が効果的です。

3. 感染源の排除

手指衛生の徹底、手袋の正しい使用方法、訪問診療時の**感染対策**などを実践し、感染源そのものを取り除きます。

→手洗いはもちろん、必要に応じて手袋を装着する。

そして正しい手袋の着脱、捨て方を厳守しましょう。



◆感染症が起こったら？

呼吸器症状（咳、くしゃみ、痰、咽頭痛、発熱など）

胃腸症状（嘔吐、下痢など）感染源によって症状は様々

症状に合わせた対応が必要です！

高齢者は「自分は大丈夫」と思いがちですが、免疫機能の低下や施設での集団生活によって感染症のリスクは高まります。もっとも、感染症は高齢者に限らず誰にでも起こり得るものであり、日常生活の中で注意が必要です。

今回の学習会では、これからの季節に増加が予想されるインフルエンザや新型コロナウイルス感染症に焦点を当て、高齢者に多く見られる症状や特徴を確認し、早期発見の重要性を共有しました。さらに、感染症予防のためには予防接種を積極的に受けていただくことも大切です。「いつもと違う小さな変化」に気づく観察力こそが、感染症を見逃さないための重要な鍵であることを改めて再認識しました。

